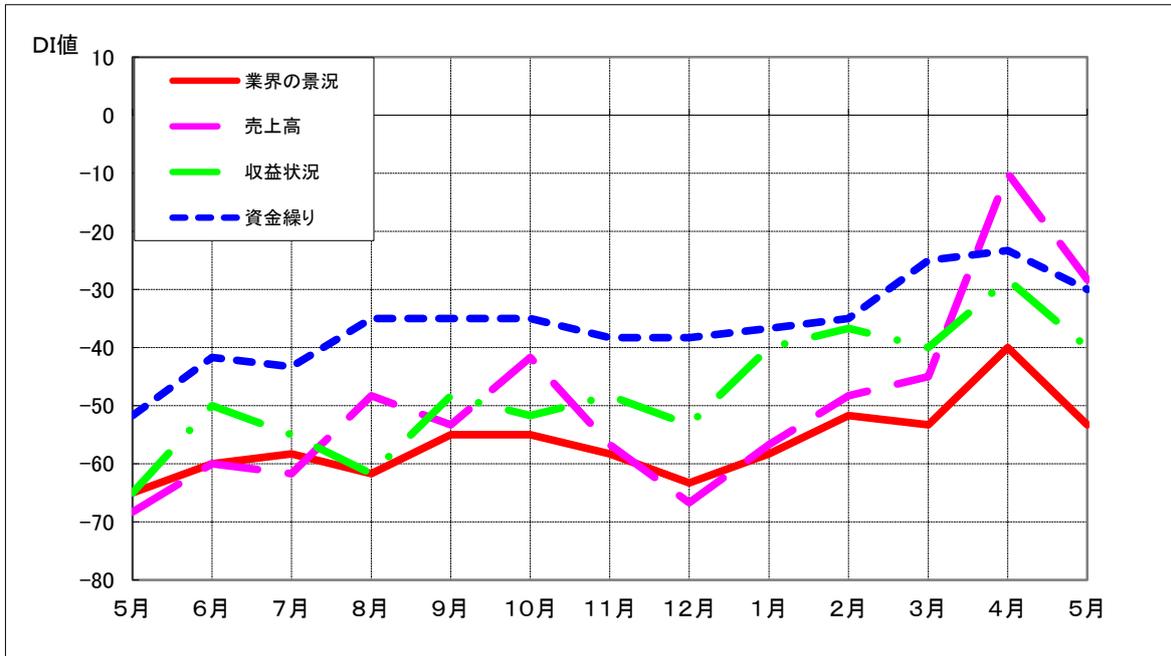


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年5月～令和3年5月

単位:ポイント



	R2					R3							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
業界の景況	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3
売上高	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3
収益状況	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0
資金繰り	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0

5月のDI値は前月と比べ、全項目で悪化となった。「売上高」DI値は18.3ポイント、「業界の景況」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.7ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比においては前月同様、全項目で改善し、「売上高」DI値は40.0ポイント、「収益状況」DI値は25.0ポイント、「資金繰り」DI値は21.7ポイント、「業界の景況」DI値は11.7ポイントそれぞれ改善した。

製造業においては業務用の出荷は依然として低調であり、原材料価格の高騰も重なり、見通しが立てられないとの意見が多かった。また関東圏での第3回目の緊急事態宣言の影響もあり、受注量が減少しているとの意見も見受けられた。非製造業者においては県内での新型コロナウイルス感染者の拡大により、人の動きが大幅に減少し、業種によっては昨年初めて緊急事態宣言が発令された前年同月と同程度の影響を受けていることが伺える。また、商店街では様々な新型コロナウイルス対策を行ってはいるが、時短要請の影響は大きく、一時休業等を選択せざるを得ない事業者も多くなっている。

県内でも一部始まっているワクチン接種について、ワクチン接種拡大のための迅速な対応を行政に求めている意見も見受けられた。今後、非対面の販売方法の導入を考えるなど、中小企業がアフターコロナに対応するための支援が行政に求められる。

組合からの特記事項としては、再び人の動きが減少したことにより、飲食店だけではなく、対面での商売となる化粧品小売業等で大きな影響がでている。建設業や鉄骨製造業においては、新型コロナウイルスの影響による工事の延期や中止、発注の減少などが見受けられた。

多くの業界では、既に一部の業界で起きている原材料費の値上げの動きが、今後、新型コロナウイルスの影響と平行して発生することが考えられ、大きな危機感を募らせている。